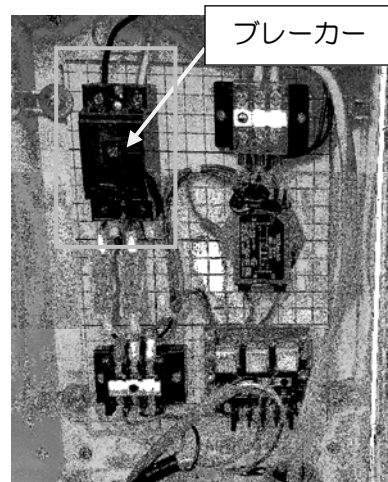
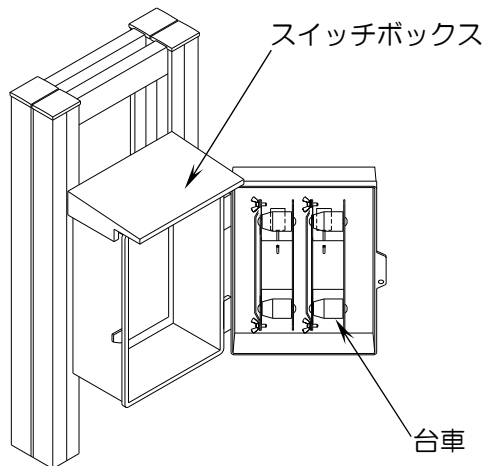


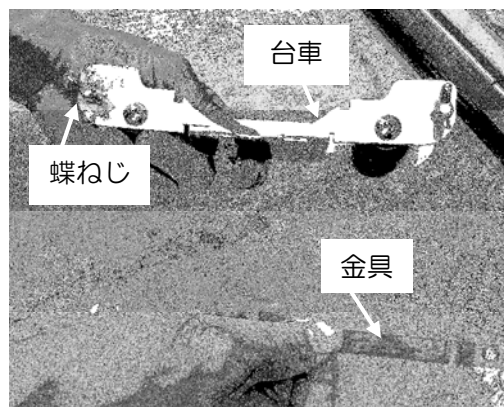
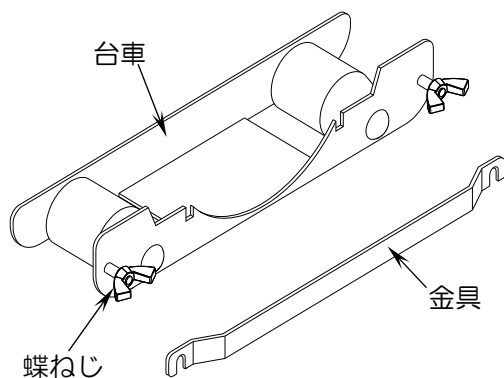
■停電時の操作について

停電時には、駆動機の水車輪がロックされ、電動による開閉操作ができなくなります。
下の①～⑦の手順に従って、駆動機の水車輪に台車を取り付けて、手動で開閉してください。

- ① スイッチボックスを開けて、必ずブレーカーを「切」にしてください。
その後に、蓋の裏側に台車が2つありますので、取り出してください。



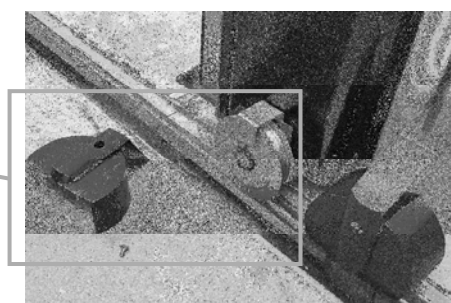
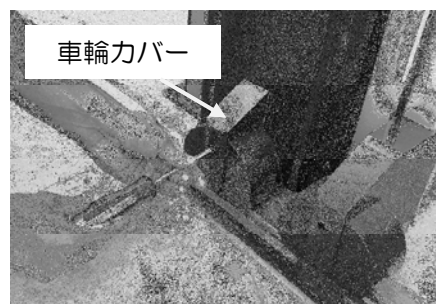
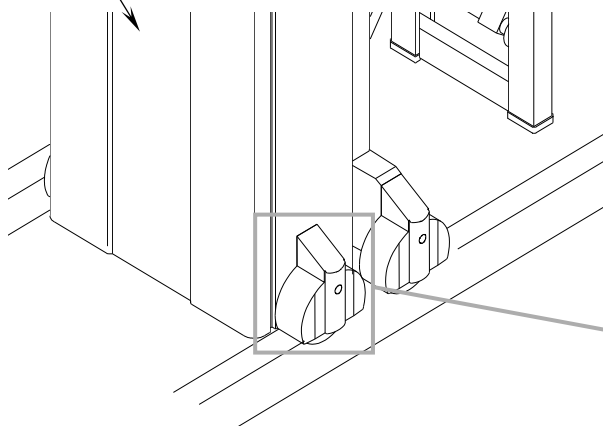
- ② 台車の2箇所の蝶ねじを緩めて、金具を取りはずしてください。



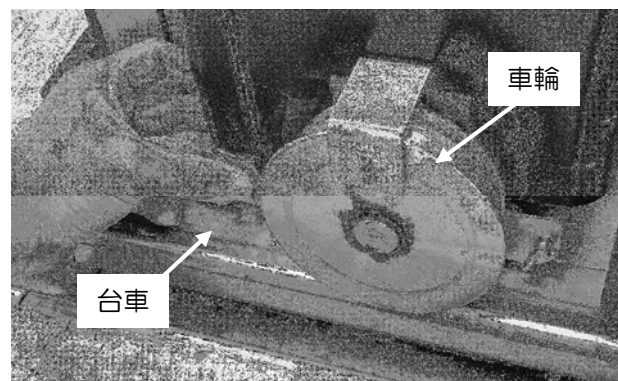
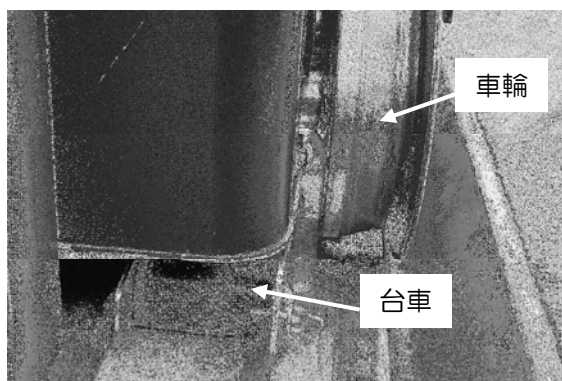
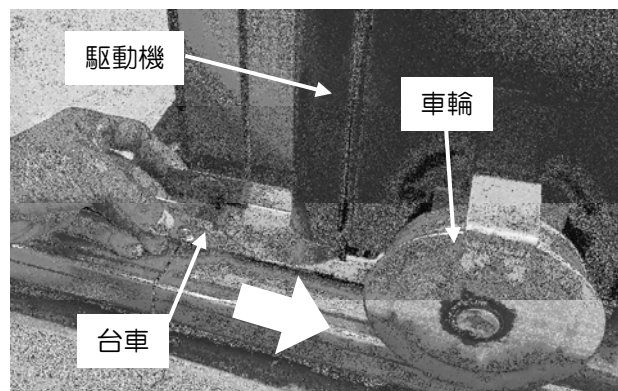
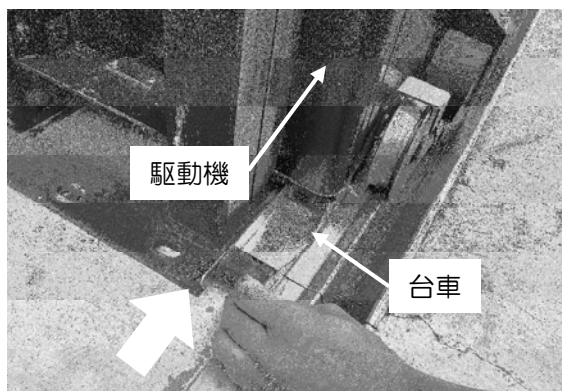
- ③ (+) ドライバーを使って、駆動機の水車輪カバーをはずしてください。
※はずした水車輪カバーとねじはなくさないようにしてください。

停電復旧後に取り付けます。

駆動機

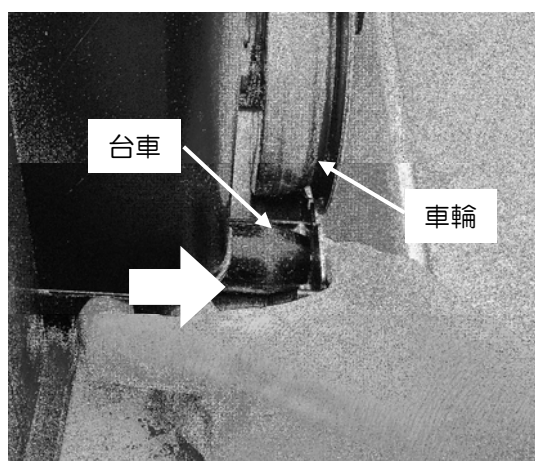
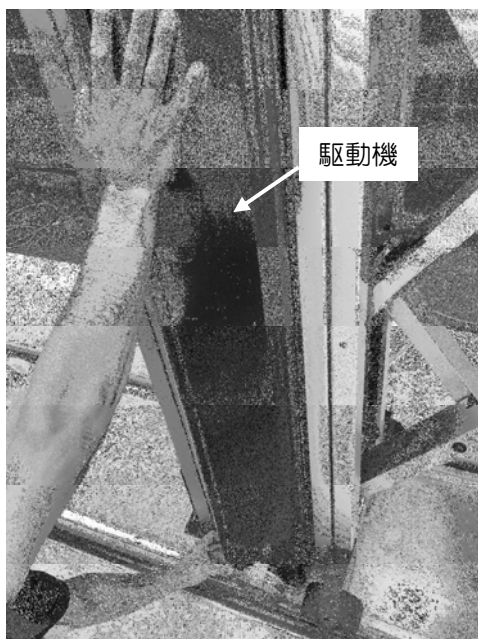


④ 台車を駆動機の下に差し込んでください。※片側ずつ行ってください。



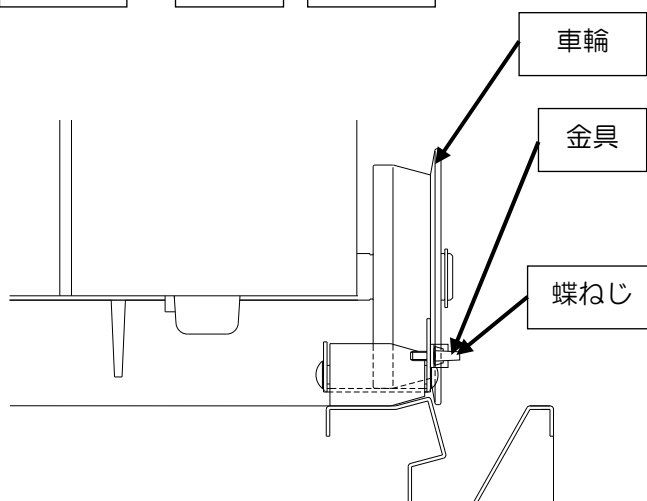
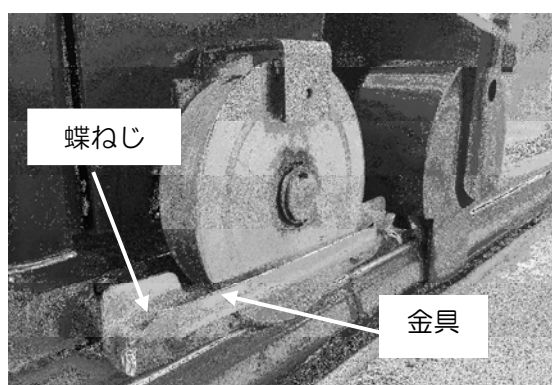
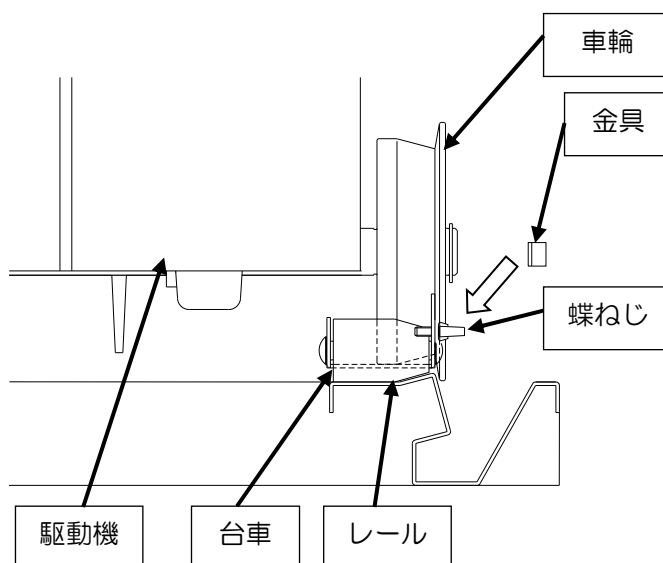
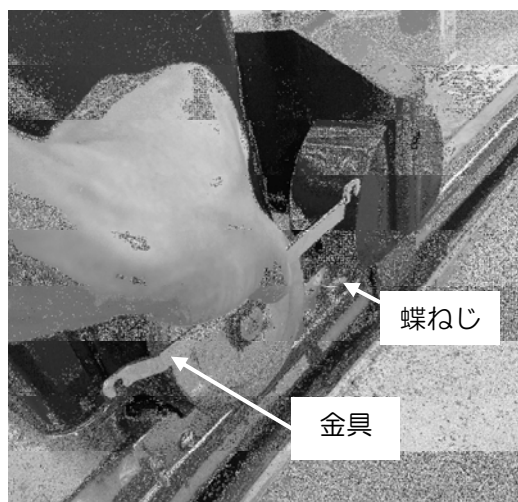
⑤ 駆動機の側面の上を強く押して駆動機を傾け、車輪をレールから浮かしながら、台車を車輪の下に入れて、車輪を台車の上に載せてください。

※台車を入れるとき、指をけがしないように気を付けてください。



※車輪と台車の側面が当たって、台車が動かなくなるまで、台車を引き寄せてください。

⑥ 金具を取り付け、蝶ねじを締めて固定してください。



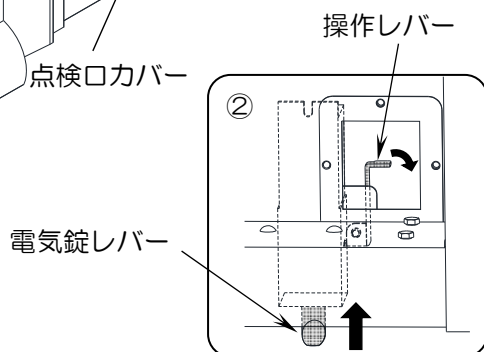
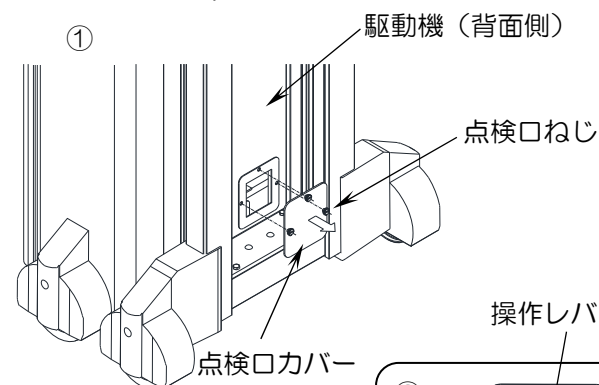
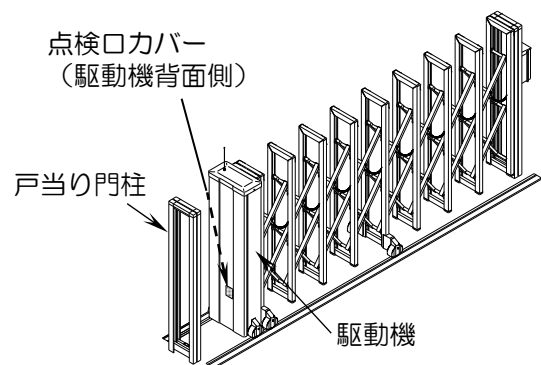
⑦ 前記の②～⑥の作業手順で、反対側の車輪にも台車を取り付けてください。

⑧ 台車を取り付けた後、駆動機の正面をゆっくり押したり、引いたりして、開閉動作を行ってください。

※全閉時は、電気錠レバーが下がっていますので、P4の「電気錠レバーが下がっていて、駆動機を動かせない時の対応」に従って、電気錠レバーを上げてください(解錠)。

停電から復旧した場合は、逆の作業手順で、台車を取り外し、③で外した車輪カバーを取り付けてください。

※台車が濡れている場合は、乾かすか、水分をしっかりとふき取ってからスイッチボックスに戻してください。

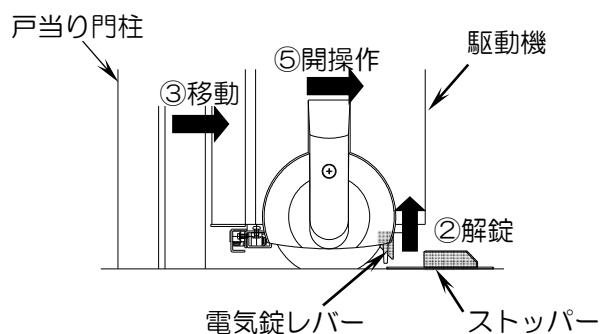


■電気錠レバーが下がっていて、駆動機を動かさない時の対応

- ① 駆動機背面の点検口カバーをはずしてください。
点検口カバーは点検口ねじで固定されていますので、コインなどを使って点検口ねじをはずしてください。
- ② 点検口のなかのレバーを下げて電気錠レバーを上げてください(解錠)。
- ③ 操作レバーを下げたまま、電気錠レバーがストッパーに干渉しない位置まで駆動機を移動させてください。
- ④ 点検口カバーを元に戻し、点検口ねじで固定してください。
- ⑤ 駆動機を押して開操作してください。

注意

固定が不十分だと雨水が浸入し、故障の原因となります。



■電源復旧時の対応について

- スイッチボックス内のブレーカーを ☐ 切 から ☐ 入 にした後、20 秒～30 秒ほど、待機させてから、開閉操作を行ってください。ブレーカーを ☐ 入 にした後、すぐに開閉操作をすると、誤作動を起こす場合があります。